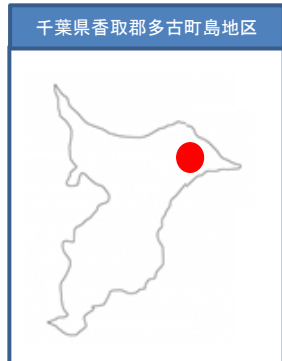


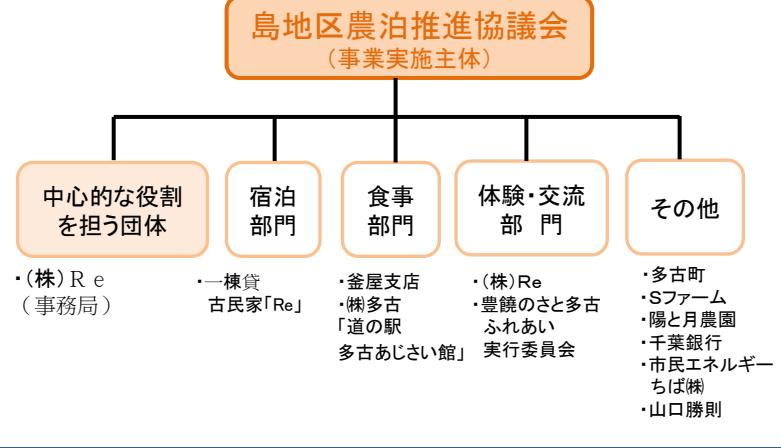
島地区農泊推進協議会

ちばけんかとりぐんたこまちしまちく
〔千葉県香取郡多古町島地区〕

- 農業が盛んながらも観光資源の乏しい多古町だが、農業体験やDIY体験などのマイクロツーリズムを受け入れられる農泊事業を増やしてゆく。
- 農泊やワークショップ体験を通じて多古町の魅力につなげ、半農半Xや関係人口や移住者の受け入れに寄与してゆく。
- 多古町『農あるまちづくり推進計画』で目指す「居心地の良い時間と空間を体験できる農あるまち」のエンジンを担う。



【実施体制】



【特徴的な取組】

- 多古町に来ると、“できない”ことが”できるようになる”農体験やDIY体験のプログラム構築。
- 世界で一番SDG'sな古民家農泊を体感できるようなエネルギー自給の農泊プログラム構築。
- 農や食などを担って愉しそうにナリワイに励む地域の方々の短編映像と冊子を作成して、働き方の選択肢を発信。

【採択年度】
令和3年度

【事業実施期間】
令和3～4年度



古民家農泊ReのHP



古民家農泊Reと多古町の魅力を伝えるオリジナルPR映像



DIYワークショップ風景

【取組内容】

- 古民家農泊Reが所在する島集落を中心として、空き家を手作り感のある農泊施設に蘇らせて地域の農や食の循環に寄与する目的で「島地区農泊推進協議会」を立ち上げる。
- 「田植え・稲刈り体験」「菜園づくり」「農村景観づくり」「古民家リノベーション」「エネルギー自給ワークショップ」など、都市住民にとっては未知で“できない”ことを”できるようになる”ためのワークショップを10種以上実証実験し、宿泊プログラム化に近づける。
- 使用可能な空家や古民家を発掘し、上記ワークショップなどを通じて新たな農泊事業のスタートアップにつなげる。
- 多古町で愉しげに仕事するナリワイ人の短編映像を10本以上配信し、2冊の小冊子にまとめ、都心で働くことに疑問を持つ方々に地方でのイキイキとした暮らしのあり方を発信する。
- 多古町観光まちづくり機構や地域おこし協力隊と密に連携して、農泊やワークショップを通じて多古町の惹かれる方々を、二拠点居住、テレワーク、ワーケーション、デュアルライフなどの関係人口につなげ、さらには移住増加に結びつける。



インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
WiFi	WC	¥	Globe	Aa	Globe with plane

